

施設検討委員会ニュース

第 24 号 平成 29 年 5 月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第 24 回立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）での審議内容である立川市新清掃工場整備基本計画（原案）及びパブリックコメントの集計結果などについてお知らせいたします。

第 24 回 立川基地跡地利用施設検討委員会【平成 29 年 3 月 14 日（火）開催】

前回（第 23 回）委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第 23 号」の掲載内容の確認を行いました。また、新清掃工場整備基本計画検討委員会（以下「計画検討委員会」という。）の委員でもある会長、副会長から計画検討委員会の様子や審議内容等について感想や報告があり、市からは「立川市新清掃工場整備基本計画（原案）」やパブリックコメントの集計結果などの報告がありました。

パブリックコメントの集計結果及び出された意見

「立川市新清掃工場整備基本計画（素案）」のパブリックコメントについて、4 名から計 17 件のご意見がありました。その一部を抜粋・要約したものををご紹介します。

設置予定地に係る基本条件に関するもの

【意見】

☆残堀川への雨水の流出を抑制することを目的に 600 m³/ha の治水施設を整備することとなっているが、治水施設の処理容量をもっと大きくすべきではないか。

【市の考え方】

★残堀川の整備計画に基づき 600 m³/ha 以上の治水対策の検討を設計段階で行っていきます。

環境保全対策に関するもの

【意見】

☆排ガスについては、連続モニタリングを行い、異常値が検出された場合、直ちに周辺住民に知らせるべきではないか。
☆騒音、振動、悪臭の他に低周波音についての考慮をすべきではないか。

【市の考え方】

★現在稼働している現清掃工場におきましても、排ガスの連続測定を実施し、測定結果について公害監視盤での公表を行っております。新清掃工場におきましても同様な形で進めて行きます。
★現在実施している新清掃工場に係る生活環境影響調査において低周波音についての調査・予測を行います。

事業方式に関するもの

【意見】

☆新清掃工場の事業方式は公設民営方式（DBO 方式）を採用することとしているが、民間事業者は経済性を重視することが考えられるため、公設民営方式（DBO 方式）においても、行政の責任として、周辺環境への影響については注視し、適切な指導をするべきではないか。

【市の考え方】

★採用を想定している公設民営方式（DBO 方式）では、公共（行政）が関わることが基本であり、運営業務のモニタリングや周辺環境への対策などについて責任を持って進めていきます。

平成 28 年度の取り組み

☆施設検討委員会の開催（第 20 回～第 24 回）

☆施設検討委員会ニュースの発行（第 19 号～第 23 号）

☆新清掃工場整備基本計画検討委員会に会長及び副会長が委員として参加

☆先進自治体施設の見学：「練馬清掃工場」（東京二十三区清掃一部事務組合）

立川基地跡地利用施設検討委員会の開催状況

☆第 20 回委員会【H28.5.26】

「施設検討委員会ニュース第 19 号」の掲載内容の確認と発行の承認を行いました。また、「新清掃工場整備基本計画検討委員会」について市から報告があり、施設検討委員会との連携などについて、委員から出された意見や考え方などを踏まえて審議しました。

☆第 21 回委員会【H28.7.20】

「施設検討委員会ニュース第 20 号」の掲載内容の確認と発行の承認を行いました。また、「第 2 回・第 3 回計画検討委員会」について市から報告があり、計画検討委員会の委員でもある会長、副会長からも計画検討委員会の様子や審議内容等についての感想や報告がありました。

☆第 22 回委員会【H28.10.6】

「施設検討委員会ニュース第 21 号」の掲載内容の確認と発行の承認を行いました。また、「第 4 回・第 5 回計画検討委員会」について市から報告があり、計画検討委員会の委員でもある会長、副会長からも計画検討委員会の様子や審議内容等についての感想や報告がありました。

☆第 23 回委員会【H28.12.16】

「施設検討委員会ニュース第 22 号」の掲載内容の確認と発行の承認を行いました。また、「立川市新清掃工場整備基本計画（素案）」や「第 6 回・第 7 回計画検討委員会」について市から報告があり、計画検討委員会の委員でもある会長、副会長からも計画検討委員会の様子や審議内容等についての感想や報告がありました。

☆第 24 回委員会【H29.3.14】

「施設検討委員会ニュース第 23 号」の掲載内容の確認と発行の承認を行いました。また、「立川市新清掃工場整備基本計画（原案）」、パブリックコメントの集計結果や「第 8 回計画検討委員会」などについて市から報告があり、計画検討委員会の委員でもある会長、副会長から受けた計画検討委員会についての感想や報告などを踏まえ、計画原案を審議しました。

「立川市新清掃工場整備基本計画」に関する住民説明会開催について

立川市より立川市民説明会について、下記の内容で開催予定であると説明がありました。

【1 回目】日程：平成 29 年 5 月 20 日（土）午後 7:00～午後 8:30

会場：上砂会館 2 階 第一集会室

定員：150 名（先着順）

対象：新清掃工場設置予定地周辺にお住まいの立川市民

【2 回目】日程：平成 29 年 5 月 28 日（日）午後 1:30～午後 3:00

会場：立川市役所 1 階 101 会議室

定員：90 名（先着順）

対象：立川市民

説明内容：「立川市新清掃工場整備基本計画」について

（1 回目・2 回目ともに、同じ内容）

施設検討委員会ニュース

第 25 号 平成 29 年 8 月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、主に平成 29 年 5 月 20 日（土）、28 日（日）に市が開催した「立川市新清掃工場整備基本計画」に関する住民説明会についてお知らせいたします。

第 25 回 立川基地跡地利用施設検討委員会【平成 29 年 5 月 9 日（火）開催】

平成 29 年度最初の委員会であったため、各委員と事務局の自己紹介と挨拶を行いました。その後、前回（第 24 回）委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第 24 号」の掲載内容の確認をしました。また、その中で出席委員から、パブリックコメントの整理と補足説明の要望について意見が出されました。

引き続き、5 月 20・28 日の「立川市新清掃工場整備基本計画」に関する住民説明会について、立川市より説明会概要及び整備基本計画の説明がありました。

説明会の趣旨

施設検討委員会の会長、副会長が策定作業に参加した「立川市新清掃工場整備基本計画」について、設置予定地周辺住民及び立川市民の方を対象とした説明を行い、新清掃工場への理解をより深めることを目的に開催。

説明会の内容(5 月 20・28 日)

開会后、市長（副市長）からの挨拶があり、立川市側の出席者紹介の後、立川基地跡地利用施設検討委員会を代表して会長から挨拶がありました。

その後、立川市からパワーポイントによる説明が行われ、続いて質疑応答の時間が設けられました。



施設検討委員会会長のあいさつ
5 月 20 日 上砂会館



立川市長のあいさつ
5 月 28 日 立川市役所

説明会の様子

平成 29 年 3 月に立川市が策定した「立川市新清掃工場整備基本計画」について、パワーポイント及び配布資料に沿って、説明が行われました。

また、質疑応答の時間では、質問に対して、項目ごとに立川市から回答や考え方の説明がありました。

- ・ 5/20 上砂会館 参加者 65 名
- ・ 5/28 立川市役所 参加者 14 名

参加者の主な質疑内容等と立川市からの回答

- ・ 多数の収集車が道路を通ることになると思うが、収集車は排気ガスに配慮したものか？

⇒平成 28 年度の速報値であるが、収集車等は平均 1 日約 120 台、1 時間当たり約 20 台となっている。現清掃工場の収集でも、低公害車として天然ガスを使った車も導入している。今後も低公害車の導入も含めて進めていきたい。

- ・ 猛禽類が営巣しているはずだが、影響はないのか？

⇒猛禽類の対応として、環境保全用地が設置されている。国などの動向を注視しながら対応していきたい。



- ・ 煙突について、周囲との調和をどのようにして図るのか。

⇒現在、具体的な案は持ち合わせていない。いろいろな工夫をされている他団体の事例も参考にしながら、検討していきたい。

- ・ 新清掃工場の稼働を前倒しできないか？

⇒様々な制約はあるが、1 日でも早く移転できるように努力したい。

- ・ 煙突の高さは航空法による制限があるようなので、工場の位置・配置に十分な考慮が必要ではないか？

⇒自衛隊と話し合いを進めている。航空法に対応しながら煙突を設置していきたい。

- ・ 30～50 年後、新清掃工場が老朽化した時の対応について、どのように考えているのか？

⇒現時点で 30 年後にどのような形でごみ処理をしていくのか予測できない。ごみの処理量やごみ処理の技術的な進展などを注視していきたい。

- ・ 地域にとって、ここに来て良かったと言われる施設になるように、工場の熱源を活用し、市民が憩いの場所として利用できる足湯を要望したい。

⇒以前にも同様の要望を聞いており、実現の可能性について、技術的・法的な検討をしているところである。

施設検討委員会ニュース

第26号 平成29年12月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第26回立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）での審議内容と10月25日（水）に実施した、新武蔵野クリーンセンターの施設見学についてお知らせいたします。

第26回 立川基地跡地利用施設検討委員会【平成29年7月18日（火）開催】

前回（第25回）委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第25号」の掲載内容の確認をしました。

また、5月20・28日、6月11日に開催された「立川市新清掃工場整備基本計画」に関する住民説明会について、立川市より説明会の様子や参加者からの質問・意見及びこれに対する立川市の回答の報告がありました。委員からは参加者数や新清掃工場に関する住民の関心度について、感想や意見が出されました。

「新武蔵野クリーンセンター」（武蔵野市）の施設見学

「施設検討委員会」では、最新の清掃工場はどのような施設なのか理解を深めるため、これまでも「クリーンプラザふじみ」（ふじみ衛生組合）、「はだのクリーンセンター」（秦野市伊勢原市環境衛生組合）や「練馬清掃工場」（東京二十三区清掃一部事務組合）への施設見学を延べ5回行っています。

今回は平成29年4月に運用を開始した最新の焼却施設である「新武蔵野クリーンセンター」（武蔵野市）への施設見学を実施しました。当日は時々小雨が降る中多くのご参加をいただき、実際に焼却施設を見学することで新しい清掃工場がどのような施設なのかを実感し、理解を深めてもらうことができました。



施設見学内容



見学日時：平成29年10月25日（水）

午後0時30分～午後4時30分

見学場所：「新武蔵野クリーンセンター」（武蔵野市）

東京都武蔵野市緑町3-1-5

参加人数：41名

見学内容：関係者挨拶・説明・DVD視聴

・施設見学・質疑応答

【新武蔵野クリーンセンター見学の様子】



質疑応答内容(抜粋)

◆建設費はどのくらいかったか？

⇒建設費は当初約 103 億円、その後物価上昇のスライド分約 8 億円を上乗せし、約 111 億円となった。

◆建設にあたって、反対運動はありましたか？

⇒説明会を積み重ね、安全な施設だということをご理解いただいたため、大きな反対はなかった。そのかわり、施設は良いものを作り、付加価値をつけてまちづくりに役立つものという要望をいただいた。

◆入浴施設や足湯等の施設はありますか？

⇒入浴施設はない。総合体育館が隣接してあるので温水プールの熱源としている。足湯については、周辺協議会から意見はあったが、衛生面を含めた管理に課題があると考えたため導入していない。今後イベント時などの一時的な利用は考えられる。

◆都市鉱山の問題があるが、回収はどのようにしていますか？

⇒不燃素材については分解して鉄やアルミはリサイクルしている。以前、小型家電については別に収集したものを福祉施設に依頼して分解し、民間の工場で処理していたが、クリーンセンターが工事中のため現在は休止している。平成 31 年度には小型家電の取り組みを再開したいと考えている。

参加者からの感想(抜粋)

◆清掃工場を見学して工場での作業工程が理解できた。今まで何の感謝もなかったが、気持ちを引き締め、最終処分をするまでのことを考え、ありがたい気持ちでごみ出しをしたいと思った。

◆いくつか清掃工場を見学したが、今日の施設はコンパクトにまとまっていて、技術が進んでいると感じた。

◆街中にとけ込んだ外観で、所々に緑があった。手入れは大変だと思うが良かった。

◆今回の清掃工場は、美術館のようだった。ごみ焼却と文化的な価値が共存している施設があれば良いと思った。

◆見学スペースを広く使えるデザインにしていきたいと思う。

◆障害者の方も一緒に見学できる施設だったので大変感心した。

◆今後も施設検討委員会を通じて、皆さんの意見を活かしながら市と協議を継続したい。

施設検討委員会ニュース

第 27 号 平成 30 年 3 月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第 27 回立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）での審議内容と前号で掲載できなかった「立川市新清掃工場事業者選定審議会」の設置・開催、及び「生活環境影響調査書の説明会、縦覧と意見書の受け付け」などについてお知らせいたします。

第 27 回 立川基地跡地利用施設検討委員会 [平成 29 年 12 月 15 日(金)開催]

前回（第 26 回）委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第 26 号」の掲載内容の確認を行いました。また、平成 29 年 10 月に開催した新武蔵野クリーンセンター（武蔵野市）の施設見学会について、立川市より見学会の様子や参加者からの意見・感想を含む開催報告がありました。さらに新清掃工場の整備・運営を行う事業者の選定審議会設置について、その目的や組織概要、事業者決定までのスケジュールの説明を受けました。

立川市新清掃工場事業者選定審議会の設置・開催について

立川市より新清掃工場の整備及び運営を行う事業者を公正かつ公平に選定するため、「新清掃工場事業者選定審議会」を平成 29 年 11 月 24 日に発足したとの報告がありました。審議会は非公開とのことでしたが、施設検討委員会としては可能な範囲で情報を提供してほしいと要望しました。

☆第 1 回開催 平成 29 年 11 月 24 日（金）

主な内容

- ・委嘱状交付、諮問
- ・今後のスケジュール等について説明

☆第 2 回開催 平成 30 年 2 月 22 日（木）

主な内容

- ・基準仕様書等について審議



「クリーンプラザふじみ」(ふじみ衛生組合)の施設見学 * 昭島市むさしの自治会

「施設検討委員会」では、最新の清掃工場の施設見学を行ってきましたが、昭島市（むさしの自治会）の方々も「クリーンプラザふじみ」(ふじみ衛生組合)の施設見学をされています。

☆見学日時：平成 30 年 1 月 25 日（木）

☆見学場所：「クリーンプラザふじみ」(ふじみ衛生組合)

東京都調布市深大寺東町 7 丁目 50 番地 30

☆参加人数：9 名

☆見学内容：関係者挨拶・説明・DVD 視聴・施設見学
・質疑応答



「生活環境影響調査書の説明会、縦覧と意見書の受け付け」について

立川市より新清掃工場の整備にともない作成した生活環境影響調査書について、下記の内容で実施予定であると説明がありました。

生活環境影響調査書とは

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて、大気汚染、悪臭、騒音・振動などの12項目について平成28・29年度に立川市が実施した調査、予測、評価をまとめたもの。

1. 住民説明会

会場	開催予定日時	定員等
立川市上砂会館 第二集会室	平成30年4月12日（木）午後7：00～	100名・先着順
立川市上砂会館 第一集会室	平成30年4月14日（土）午前10：00～	150名・先着順

＊昭島市民の方対象の説明会は、4月15日（日）昭島市立富士見会館で午前10時から開催予定です。

＊新清掃工場に関連する都市計画決定・変更原案についての説明会も同時開催します。

2. 縦覧（生活環境影響調査書）

【縦覧期間】平成30年4月10日（火）～5月10日（木）

縦覧場所	期間中で縦覧できない日	縦覧時間
清掃工場 総合リサイクルセンター 環境下水道部 環境対策課 （立川市役所2階）	土曜日、日曜日及び祝日	午前8時30分～午後5時15分
中央図書館	4月30日以外の月曜日、 第3木曜日及び5月1日	平日：午前10時～午後8時 土日祝日：午前10時～午後5時
窓口サービスセンター （立川タクロス1階）	4月30日、5月3日、 5月4日	平日：午前8時30分～午後8時 土日：午前8時30分～午後5時

＊昭島市民の方対象の縦覧は、昭島市都市計画部地域開発課において、上表「清掃工場」と同じ期間と時間で行う予定です。

3. 意見書の提出

施設の設置について利害関係がある方は、意見書を提出できます。

意見書の提出先	提出期間	提出方法
環境下水道部 新清掃工場準備室 〒190-0001 立川市若葉町 4-11-19 （立川市清掃工場3階）	平成30年4月10日（火）～ 5月24日（木） ※消印有効	直接 または 郵送

【必要事項】①宛名（立川市長宛て）②標題「新清掃工場整備に係る生活環境影響調査書に関する意見書」③日付、住所、氏名④意見を記載のうえ、提出してください。

施設検討委員会ニュース

第 28 号 平成 30 年 6 月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第 28 回立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）の審議内容、4 月に開催した生活環境影響調査書の住民説明会及び平成 29 年度の施設検討委員会の取り組みなどについてお知らせいたします。

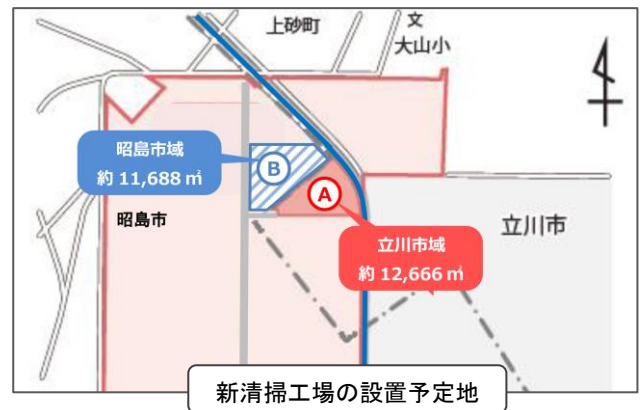
第 28 回 立川基地跡地利用施設検討委員会 [平成 30 年 3 月 20 日(火)開催]

前回（第 27 回）委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第 27 号」の掲載内容の確認を行いました。市からは、新清掃工場設置予定地について、生活環境影響調査に係る住民説明会等の実施予定、新清掃工場事業者選定審議会の開催等の報告がありました。

新清掃工場建設用地取得について(昭島市域)

立川市より、㊤立川市域に加え、㊤昭島市域を含めた敷地（㊤+㊤）について、国に用地取得の要望書を提出したとの報告がありました。

㊤+㊤＝新清掃工場の設置予定地
㊤立川市域
㊤昭島市域



立川市からの説明

- ・新清掃工場整備基本計画に示した「新清掃工場が目指す施設」の実現のため、隣接する昭島市域を含めることとした。
- ・昭島市域は、周辺地域との間の緩衝帯、緑地、防災機能を持つオープンスペース（防災空地）等を設けることを考えている。

委員からの質疑内容等と立川市からの回答(一部抜粋)

- ◆昭島市域の取得は確定なのか？
⇒国との手続きをしており、昭島市の意向もある。調整中なので、確定ではない。
- ◆昭島市と協力して立川・昭島市域を取得するのか？
⇒土地は立川市が取得する。全体を立川市の新清掃工場の敷地として活用することで調整している。また、昭島市にも説明している。
- ◆土地が取得できた場合、次の 30 年後に昭島市域に清掃工場を建てるといった考えはないのか？そうすれば再び移転先で住民ともめることもない。
⇒新清掃工場を立川市域に建てる考えは従来と変わらない。昭島市域には焼却等ごみ処理施設等の建物を建てることは考えていない。
- ◆立川の土地になるのか？
⇒行政区域は昭島市だが、所有者は立川市となる。

説明会の趣旨

新清掃工場の整備事業が環境（大気汚染、悪臭、騒音・振動などの12項目）にどのような影響を及ぼすかについて、平成28・29年度に実施した調査・予測・評価の結果（生活環境影響調査書）がまとまったため、市民等を対象に説明会を開催して新清掃工場への理解を深めることを目的に開催。

説明会の様子



4月14日 上砂会館

開会后、立川市からの挨拶と出席者の紹介がありました。その後、パワーポイントによる説明が行われ、続いて質疑応答の時間が設けられました。

また、新清掃工場に関連する都市計画原案の説明会も同時開催されました。

- ・4/12 上砂会館 参加者 28 名
- ・4/14 上砂会館 参加者 14 名
- ・4/15 富士見会館（昭島市） 参加者 13 名

参加者の質疑内容等と立川市からの回答（一部抜粋）

- ◆新清掃工場の敷地と都市計画変更の範囲が違うのはなぜか？
⇒都市計画の変更は立川市域のみで行っており、ごみ焼却場の都市計画決定も立川市域としている。ごみ焼却場の敷地については財務省、昭島市との協議では昭島市域を含めているため、範囲が異なっている。
- ◆立3・2・38号線が完成しなくても新清掃工場を稼働させるのか？
⇒仮に平成34年度に立3・2・38号線が完成していなくても、現清掃工場の状況から、新清掃工場は稼働させたいと考えている。運搬車両の走行ルートについては望ましいルートを検討して、丁寧に説明していきたい。
- ◆大気汚染の測定を国営公園北線沿いの給食センターで行うのはおかしい。大気汚染の測定はもっと施設の近くで行うべきではないのか？
⇒給食センター付近の国営公園北線は、工事車両や廃棄物運搬車両の主な走行ルートとなる。交通による汚染の影響を予測するために測定している。
- ◆景観の予測評価の中で、現在の樹木をすべて伐採した場合という説明があったが、伐採は認められない。
⇒景観の予測では、既存樹木を伐採し新たに植栽した形で予測している。既存樹木のうち外来種等は伐採し、その他は樹木の状態、維持管理を含めて緑の質の向上について検討することになる。保全できるものは保全したい。

平成29年度の取り組み

☆立川基地跡地利用施設検討委員会の開催

- ・第25回委員会【平成29年5月9日】
- ・第27回委員会【平成29年12月15日】
- ・第26回委員会【平成29年7月18日】
- ・第28回委員会【平成30年3月20日】

☆施設検討委員会ニュースの発行（第24号～第27号）

☆先進自治体施設の見学：「新武蔵野クリーンセンター」（武蔵野市）

☆住民説明会（立川市主催）の周知協力及び委員の参加

施設検討委員会ニュース

第29号 平成30年9月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第29回 立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）の審議内容などについてお知らせいたします。

第29回 立川基地跡地利用施設検討委員会【平成30年5月24日(木)開催】

前回（第28回）委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第28号」の掲載内容の確認を行いました。立川市からは、新清掃工場整備に係る生活環境影響調査や新清掃工場建設に向けた取り組み状況、立3・2・38号国営公園西線についての報告と説明がありました。

生活環境影響調査書の説明会、縦覧と意見書の提出について

立川市がとりまとめた生活環境影響調査に係る手続き等について、実施報告がありました。

①住民説明会の開催

開催日及び参加者数

4/12（木）上砂会館 参加者 28名

4/14（土）上砂会館 参加者 14名

4/15（日）富士見会館（昭島市） 参加者 13名

②生活環境影響調査書の縦覧

縦覧期間 平成30年4月10日（火）～5月10日（木）

縦覧場所 清掃工場など市内6箇所及び昭島市都市計画部地域開発課

③意見書の提出

提出期間 平成30年4月10日（火）～5月24日（木）

提出件数 0件



4月12日 上砂会館

*詳細については立川市ホームページ（<http://www.city.tachikawa.lg.jp/>）をご覧ください。「生活環境影響調査」とキーワード検索をしていただくと、該当のページを見つけることができます。

立川市新清掃工場事業者選定審議会の開催について

第3回審議会が4月23日に開催され、実施方針、基準仕様書等について審議されたとの報告及び事業者選定の経過と今後の予定についての説明がありました。

事業者選定の経過と予定

事業者選定の経過と予定	
今までの経過	
平成29年11月24日	第1回審議会 議事:委嘱状の交付、会長・副会長の選任等
平成30年 2月22日	第2回審議会 議事:基準仕様書等について
平成30年 4月23日	第3回審議会 議事:実施方針、基準仕様書等について
今後の予定	
平成30年6～7月頃	第4回審議会 議事:基準仕様書等について 実施方針の公表
平成30年9～10月頃	入札公告
平成31年6月頃	契約締結

新清掃工場建設用地取得について

新清掃工場設置予定地は財務省の所有地（昭島市域を含む）のため、国有財産取得についての手続きを行う必要があります。この手続き等の経過と今後の予定についての説明がありました。

用地取得の経過と予定	
今までの経過	
平成 30 年 1 月 17 日	「公的利用」のうち昭島市域分約 1.17ha の取得に関し、立川市長から昭島市長へ申し入れ
1 月 26 日	立川市が立川基地跡地昭島地区開発協議会（財務省・法務省・東京都・立川市・昭島市・独立行政法人都市再生機構）へ用地取得に係る報告
1 月 31 日	立川市が財務省に対し、国有財産の取得について要望書の提出 ※「公的利用」約 2.44ha
3 月 8 日	財務省が昭島市に、未利用国有地等の取得要望にかかる地域の整備計画に関する意見照会
3 月 30 日	上記照会に対する昭島市の回答（意見なし） 立川市と昭島市が覚書を締結 要旨・清掃工場の敷地は昭島市域を含む区域とする ・昭島市域には緩衝帯、緑地、防災機能を持つオープンスペース(防災空地)等を設ける ・昭島市域にはごみ処理の用に供する建築物等の施設を設置しない
今後の予定	
6 月頃 ※	国有財産関東地方審議会

※施設検討委員会への報告時は今後の予定として説明を受けました。その後、6 月 12 日に国有財産関東地方審議会は国有財産を立川市に対し無償貸付することについて、適当と認める答申をしています。

立3・2・38号国営公園西線の整備状況について

4 月に立川市が開催した住民説明会において質疑のあった、立3・2・38号国営公園西線（新清掃工場設置予定地近くに整備予定）の進捗状況及び関連する事項について、立川市から下記の報告がありました。これに対し、委員会から引き続き積極的な情報提供を立川市に求めました。

【報告内容】

- ・説明会后に、市長が北多摩北部建設事務所長に直接会って、道路整備の事業促進をお願いしている。
- ・北多摩北部建設事務所から、「平成 33 年度末の完成に向けて事業を進めているところであり、物件調査はほぼ終了し、契約のための個別交渉に入っている」と聞いている。
- ・立川市と北多摩北部建設事務所は、情報交換を密に行うことを確認している。



施設検討委員会ニュース

第30号 平成30年12月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第30回 立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）の審議内容などについてお知らせいたします。

第30回 立川基地跡地利用施設検討委員会【平成30年8月24日(金)開催】

前回（第29回）施設検討委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第29号」の掲載内容の確認を行いました。立川市からは、新清掃工場の整備運営を行う事業者の選定について、報告と説明がありました。

新清掃工場 事業者選定について

新清掃工場の設計・建設業務と運営・維持管理業務を行う事業者の選定については、事業をDBO方式（公設民営方式）で行い、条件付き一般競争入札により事業者を選定することが報告されました。

1. 実施方針について（平成30年7月5日公表）

実施方針とは、新清掃工場整備運営事業を民間企業の経営能力及び技術的能力を活用して効率的かつ効果的に実施することに関する事項を定めた方針です。具体的には事業概要、民間事業者の募集や選定に関する事項、リスク分担等が記載されています。

2. 基準仕様書（案）について（平成30年8月8日公表）

基準仕様書とは、施設の性能を確保する上で、市と応募者の契約条件となるものであり、市の要求条件を明確にするものです。基準仕様書の作成にあたっては、新清掃工場整備基本計画の記載内容を反映しています。

基準仕様書(案)の構成及び主な記載事項

総則

- ・計画概要 施設規模 120 t / 日（60 t / 日 × 2 炉）、事業期間、設置場所 など
- ・計画主要目 処理能力、炉形式、搬出入車両、稼働時間（1 日 24 時間運転） など

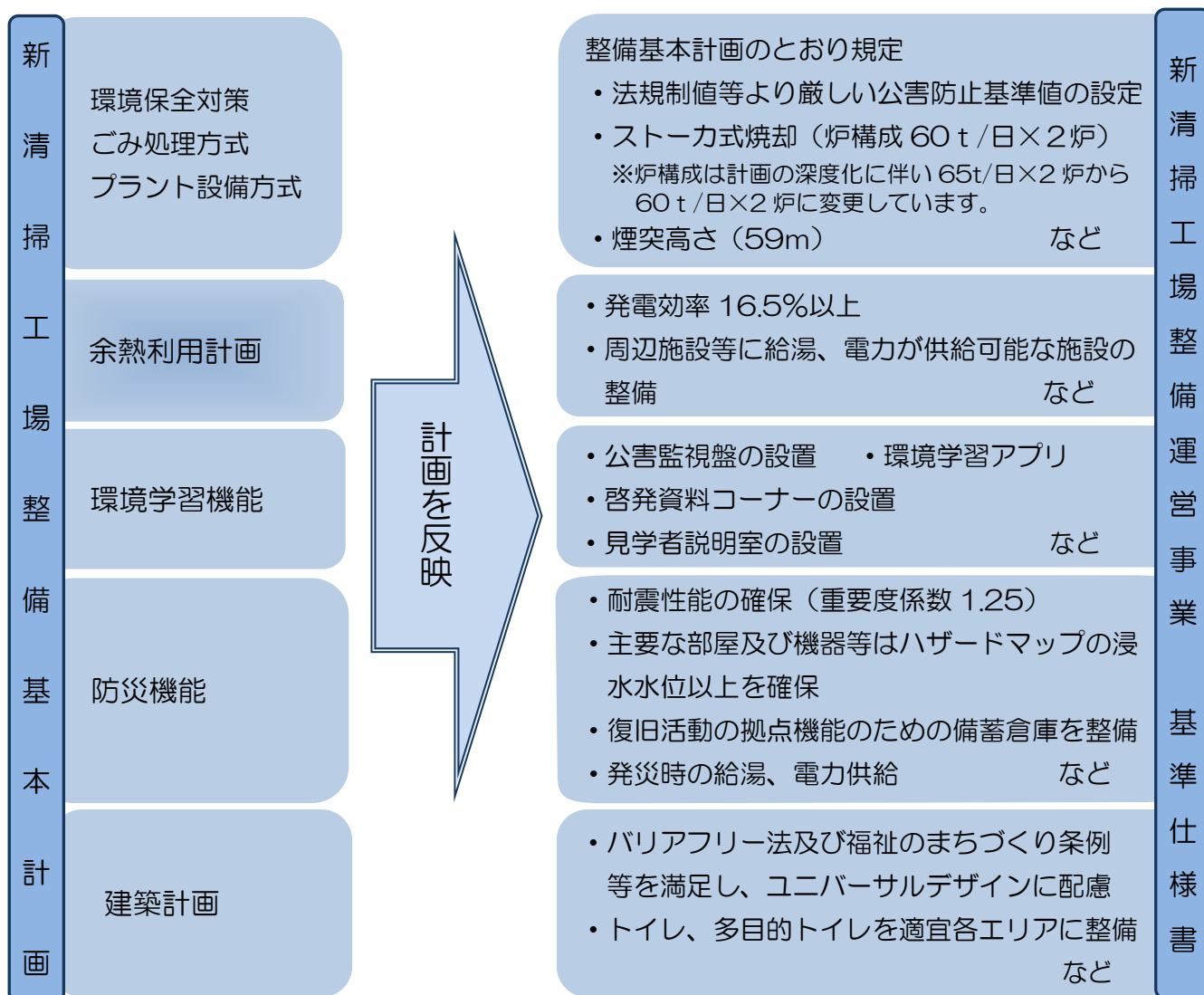
建設に係る事項

- ・基本事項
- ・機械設備工事仕様
- ・土木建築工事仕様

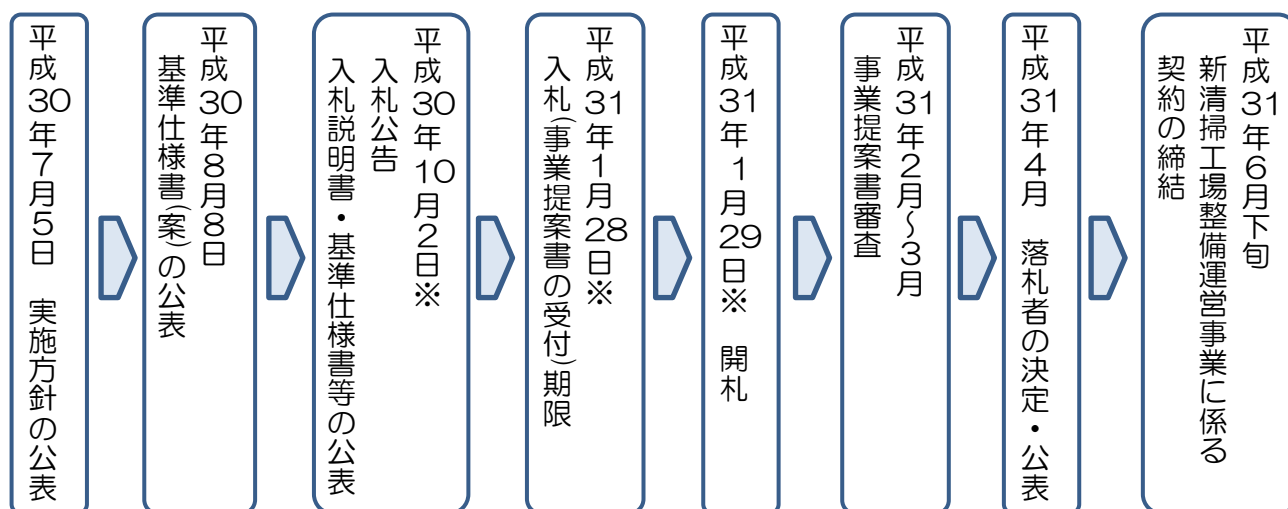
運営に係る事項

- ・施設運営業務
- ・労働安全衛生
- ・運営条件
- ・維持保全管理
- ・運営、維持管理
- ・運転管理
- など

3. 新清掃工場整備基本計画の基準仕様書への反映



4. 事業スケジュール



※8/24 開催の第 30 回施設検討委員会では、立川市から入札公告を「9 月下旬」、入札の期限及び開札を「1 月下旬」の予定として報告を受けましたが、ここでは本ニュース発行時点での実施済みまたは確定の日付を掲載しています。

施設検討委員会ニュース

第31号 平成31年4月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第31回 立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）の審議内容などについてお知らせいたします。

第31回 立川基地跡地利用施設検討委員会【平成30年12月13日(木)開催】

前回（第30回）施設検討委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第30号」の掲載内容の確認を行いました。立川市からは、新清掃工場の整備運営を行う事業者の選定や今後実施する不発弾調査及び樹木伐採などについて、報告と説明がありました。

不発弾調査及び樹木伐採に関する説明会が開催されました

第31回施設検討委員会で説明のあった、不発弾調査及び樹木伐採に関する説明会が、平成31年2月19日に上砂会館、23日に昭島市立富士見会館で開催されました。主な説明内容は次の通りです。

1. 不発弾調査及び樹木伐採の目的

新清掃工場の整備に先立ち、地中に残存している可能性がある不発弾等の危険物を調査し、工事の安全確保を図ることを目的としています。また、不発弾調査や施設整備に支障となる樹木を伐採します。

2. 事業の範囲

不発弾調査、樹木伐採の範囲は新清掃工場建設用地（約2.4ha）全体です。

3. 事業のスケジュール

作業期間について、不発弾調査は2～6月、樹木伐採は2～4月を予定しています。

	平成31年（2019年）				
	2月	3月	4月	5月	6月
不発弾調査業務	準備・調整			現地調査	解析業務・報告書作成
樹木伐採業務	準備・調整	伐採等業務			

4. 業務内容

(1) 不発弾調査業務

<調査方法>

陸上水平磁気探査

- 不発弾調査は磁気探査により行います。対象区域内に1m間隔で測線を設定し、その測線に沿って探査員2名がセンサーを持って歩行し、不発弾の調査をします。
- この調査により、深さ1.5mまでの250kg爆弾程度の

不発弾の有無の可能性が確認できます。なお、施設整備を行ううえで1.5m以深を掘削する部分については、必要に応じ、不発弾調査を行います。

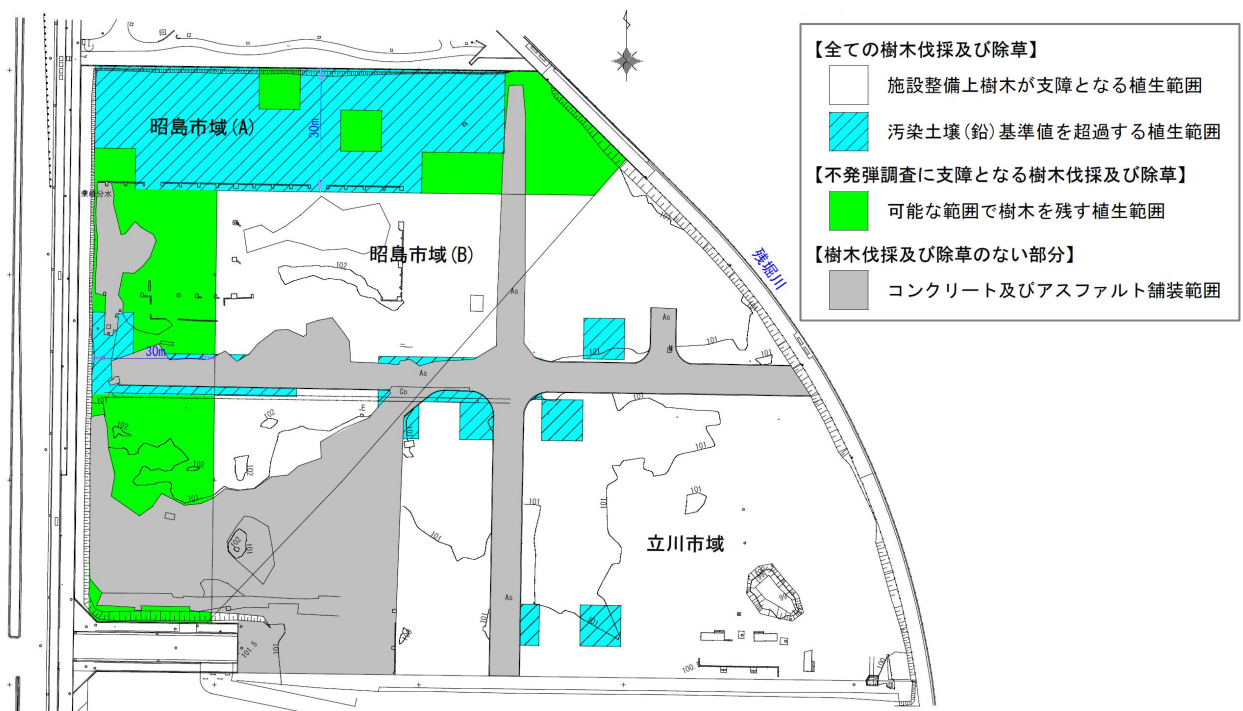


作業イメージ

(2) 樹木伐採業務

<樹木伐採の考え方>

不発弾調査及び施設整備に支障となることから、原則として樹木は伐採します。ただし、昭島市域(A)の汚染土壌部分以外については存置可能な樹木は残します。なお、外来種に該当する樹木、樹形の悪い樹木及び樹勢が悪く管理に課題のある樹木等については伐採します。



施設検討委員会ニュース

第 32 号 令和元年 7 月発行
立川基地跡地利用施設検討委員会
会長 佐藤 良子

今回の「施設検討委員会ニュース」では、第 33 回立川基地跡地利用施設検討委員会（以下「施設検討委員会」という。）において、立川市から報告のあった内容と、第 32 回の委員会の概要などについてお知らせいたします。

1. 第 33 回立川基地跡地利用施設検討委員会 立川市からの報告

(1)新清掃工場整備運営事業の落札者決定について

立川市は、新清掃工場の設計、建設及び運営に関する事業者選定について、平成 30 年 10 月の入札告示並びに入札説明書等の公表後、本年 1 月に入札及び開札を行いました。その後、落札予定者となった事業者から提出された事業提案書について、立川市新清掃工場事業者選定審議会の審査を経て、市は 4 月 23 日に落札者を公表し、6 月 27 日に契約を締結したとの報告がありました。落札者と契約金額は以下のとおりです。

☆落札者

【代表企業】 荏原環境プラント株式会社 東日本営業部	【構成員】 吉川建設株式会社 東京支店
----------------------------------	---------------------------

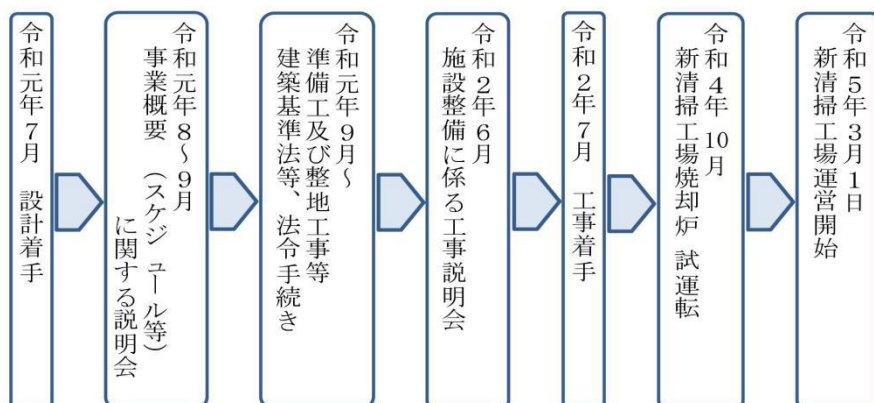
※立川市は、代表企業（荏原環境プラント株式会社）、構成員（吉川建設株式会社）及び代表企業が設立した特別目的会社（株式会社たちかわ E サービス）と契約を締結しました。

☆契約金額

契約金額 ※消費税及び地方消費税（10%）含む	18,469,000,000円
内訳	
施設整備請負費	10,813,000,000円
運営業務委託料（運営期間 20 年 1 ヶ月）	7,656,000,000円

※詳細については、立川市のホームページ（<https://www.city.tachikawa.lg.jp/>）をご覧ください。「新清掃工場 落札者」でキーワード検索をいただくと、関連記事がご覧になれます。

(2)今後のスケジュール(予定)



(3)不発弾調査及び樹木伐採について

前号のニュースでお知らせした建設用地の不発弾調査及び樹木伐採について、報告がありました。

樹木伐採は4月末までに完了しています。不発弾調査は5月上旬から現地調査を実施し、6月末現在、調査結果の解析を行っています。



不 発 弾 調 査 の 様 子

2. 第32回 立川基地跡地利用施設検討委員会【平成31年3月19日(火)開催】

前回（第31回）委員会の議事内容の確認と「施設検討委員会ニュース第31号」の掲載内容の確認を行いました。市からは、新清掃工場建設用地における不発弾調査及び樹木伐採に関する説明会（2月19日・23日）の開催状況や、新清掃工場整備運営事業者選定の経過及びスケジュールについての報告がありました。

3. 平成30年度 立川基地跡地利用施設検討委員会の活動報告

☆立川基地跡地利用施設検討委員会の開催

第29回委員会【平成30年5月24日】

- 主な議題・「施設検討委員会ニュース 第28号」について
- ・新清掃工場整備に係る生活環境影響調査について
 - ・新清掃工場建設に向けた取り組み状況について

第30回委員会【平成30年8月24日】

- 主な議題・「施設検討委員会ニュース 第29号」について
- ・新清掃工場事業者選定について

第31回委員会【平成30年12月13日】

- 主な議題・「施設検討委員会ニュース 第30号」について
- ・新清掃工場事業者選定等について

第32回委員会【平成31年3月19日】

- 主な議題・「施設検討委員会ニュース 第31号」について
- ・新清掃工場事業者選定等について
 - ・新清掃工場建設用地の樹木伐採について

☆施設検討委員会ニュースの発行（第28号～第30号）

※第31号は平成31年4月に発行しています。

☆住民説明会（立川市主催）の周知協力及び委員の参加